



ほり 堀 りょういち

ドブ板生まれ
根岸町在住

横須賀市議会議員 無所属

公式LINE



YouTube



横須賀ニュース TOP10

出産子育て祝金を市独自で支給

国の支給に加え、更に10万円を市独自で支給。9月1日以降に妊娠、出産が確認された方が対象。



(写真はイメージ)

50年ぶり！博物館リニューアル

横須賀市自然・人文博物館のリニューアルに向けて基本計画案が公表。観光や教育の拠点としての機能も追加。



高校生と協働！「はたらく課」

若者の政治参画を訴えてきましたが、今回高校生と市が協働で学び、政策を作る新たな課が誕生。注目です。



追浜工場の車両生産終了への対策

市長が日産社長に要望書を提出。従業員の雇用の維持・確保や跡地活用を地域経済の活性に繋げることを要望。



JERA park YOKOSUKA オープン

横須賀火力発電所の敷地の一部を市民に開放。11月から。「ふれあい広場」「ふれあいの丘」「ふれあいグラウンド」の3つのエリアで展開。



毎号、横須賀に関する出来事の中で特にお伝えしたいこと10選をお伝えします。
詳細は堀りょういちのブログ等をご覧ください。

BLOG



観光立市への第2章

観光の基本計画第2期が策定中。インバウンドや小中高生等を新たなターゲットにして、宿泊客増などを目指す

横須賀市
観光立市推進
基本計画(第2次)

追浜夏島線の拡幅へ

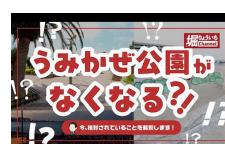
追浜駅から日産方面への道路を18mから23mに拡幅。鷹取川の整備を行い、2035年の完成を目指す



(写真はイメージ)

うみかぜ公園がなくなる？！

ノジマモール裏に新ふ頭の整備計画があり、公園が大きく変わるかも？！詳細はYouTube動画をご覧ください。



2024年度決算が報告

本市の昨年度の決算報告がありました。一般会計について、学校給食費への支援などの物価高騰対策経費などで、歳出総額は約1,719億円に。一方、固定資産税や不動産売払収入の増加などで、歳入総額は約1,778億円となりました。財政の健全性等に差し迫った課題はありませんが、持続可能かつ中長期的な財政運営に向けた施策を進める必要があります。



(本決算議案については議会で認定されました)

子どもの生活習慣の改善に向けて「オールヨコスカ」で

9月定例議会の一般質問にて、市長・教育長に提言しました。現在、**5人に1人の子どもが「生活習慣病予備軍」とされ、小児肥満の7割が成人肥満へ移行する可能性が指摘されています。**本市の調査でも、推奨される睡眠時間を毎日満たしている子どもは小学校高学年で2~3割と少なかったり、1週間の運動時間がゼロの子どもの割合が増加するなど、心配な状況がいくつも見られています。



提案に対し、市長・教育長から前向きな回答を得られました。

- ①教育委員会が行っている県立保健福祉大学との共同研究結果等を踏まえ、「市全体」での取組を検討をしていく。
- ②子どもに関するバラバラのデータを連携し、市の**データ分析システムを子どもの健康増進のためにも活用する。**
- ③**教育振興基本計画の目標設定と取組の見直し**について検討する。
- ④**スクリーンタイムの長時間化対策のための実態把握**を推進する。

これまで学齢期の子どもの生活改善は主に学校の先生の指導に委ねられてきましたが、これからは家庭や地域を巻き込んでの実践的な活動が求められます。県立保健福祉大学等の学術機関と連携したり、本市ゆかりのスポーツチームと協働するなど、「オールヨコスカ」での取組が求められているのではないでしょうか。

シニア世代の住環境を整備し、「住み心地の良いまち」へ

エレベーターのない古い5階建てマンションや谷戸地域など、高齢者が生活困難な家に住み続け、結果的に孤立や健康悪化につながる事例が増えています。誰もが住み心地の良い横須賀を実現するために、訪問介護や搬送サービスの充実に加え、福祉と住宅政策を融合させた新たな取組みが必要ではないでしょうか。



私は以下の三点を提言し、市長から前向きな回答を得られました。

①自身の生活環境にあった早期の「住み替え」を支援するべき

福祉部局と連携し、リーフレットやHP等で意識啓発を実施していく旨の答弁がありました。引越し費用などの経済的な補助制度の導入も提案しましたが、これについては見送られ、研究課題となりました。これについては堀も引き続き言及をしていきます。

②老朽化マンションの実態把握を進め、管理計画の策定を積極的に支援する仕組みを作るべき。

本市において築40年を超えるマンションは44%を超えると推計され、防災面で課題のある建物も多くあります。マンションの老朽化と並行して住民の高齢化も進む中、現在市は各マンションの実態調査を行なっています。担当部長からは「管理不全マンション」の定義を明確にし、そのマンションに積極的な支援を行なっていく旨の回答がありました。

③うわまち病院跡地の活用案の一つとして、多世代が集住する新たなモデルタウンを作ることを検討すべき。

跡地の一部に看護系大学の設置が検討されていますが、残りの空間に高齢者向け住宅や学生寮、介護施設等を整備し、多世代が交流しつつ安全安心に暮らせるモデルタウンの設置を提案しました。市長には集住促進の重要性について理解をいただき、民官連携での可能性について言及をもらいました。引き続き市と協議を重ねてまいります。

堀りょういちのプロフィール



- 1986年ドブ板生まれ、根岸町在住 / 妻と小学生の娘と / 故祖父はドブ板通り「堀整形外科」元院長
- 長岡こども園→汐入小学校→坂本中学校→県立横須賀高校(57期)→早稲田大学 政治経済学部政治学科
- 松下政経塾31期入塾(本市出身では初)。2年半で中退し、アクセント(株)入社。
その後、自殺対策を進めるNPO法人にて24時間365日の相談・支援に従事。
- 2019年横須賀市議会議員に初当選。現在2期目。会派「一市民」に所属(副団長)
- 冒険遊び場「よこすかプレーパーク」を設立。子どもの居場所づくりに自ら草の根で活動中。

所属 公郷小学校PTA会長・大津諒訪十神連合・根岸町3丁目町内会役員・ドブ板通り商店街振興組合・本町青年会・横須賀市消防団第3分団横須賀剣道連盟・学童保育運営委員(市内3か所)他

趣味 剣道(四段)・ピアノ(娘と教室に通ってます)・スポーツ吹き矢・よこすかラーメン屋巡り



各種SNSは
こちらから

